

## 新宿区内での地域猫活動

### K 公園の事例

もっとも最近着手した現場で現在進行形の K 公園での活動についてご報告させていただきます。

#### きっかけ

この公園の猫について最初に保健所に相談のあったのが 2012 年の 10 月でした。(流れを表した資料 1 “K 公園 TNR 報告” をご参照ください) 年明けにもすぐにまた別の方から相談があり、「新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会」(以降“連絡協議会”)の宇都宮が保健所の紹介で相談者と話し始めました。

ここも典型的な「猫が増えて困っている」「ただ餌を与えるだけの人がいる」「近隣住民の中に迷惑している人が多い」「猫が増えて心配だがどうしてよいかわからない。→保健所に相談」という問題を抱えていました。

苦情者・餌やりさん・なんとかしたいが方法がわからない人、ポジティブであれネガティブであれ、関心のある 3 者がそろえばこの現場は先に進める可能性が高いと判断できます。

1 月 31 日に保健所職員と U 氏で確認したところ、この公園にはこの時点で約 25 匹の猫が餌やりの時間に合わせて近隣から集まってくるということがわかりました。すでに発情シーズンも近づいており着手するなら一挙にしてしまう方が効果的だと考えられます。

TNR に踏み切った理由として他にも在勤者である相談者の方が積極的であり、全猫の手術代の負担を申し出ておられたこと、また猫用トラップを区役所に借りに行くなど積極的で協力体制が取りやすいこと。この現場の餌やりさんとはすでに他の現場で顔見知りになっていたためその後の管理がしやすいこと。昨年やはり他の現場で連絡協議会のメンバーと一緒に TNR をした方のお住まいが近く、今回の協力を申し出てくれていたこと。それらを勘案の上、着手に踏み切りました。

#### 準備

2 月 1 日には準備を開始し、28 台の捕獲器(一部 2 回転させる)を新宿区内のボランティアや東京都の動物愛護推進員から借り集める算段をし、搬送者と車の手配、獣医への予約、広報(近隣への告知用の文章 資料 2~3 を用意し保健所にチェックしてもらう)などを準備し始めました。

2月5日には近隣住民への告知のためのちらしを約200部ポスティング。またトラップを置く予定の公園入り口にも捕獲予定を掲示しました。(ちらしなどは別添資料2~3をご覧ください)餌やりさんにも7日の捕獲前日の6日は餌を与えないよう協力を要請しました。

またこの捕獲の計画は新宿区みどり公園課、T署と最寄の交番、O出張所、町会長にもお知らせしました。

#### 捕獲当日

2月7日の16時30分より捕獲を開始しました。相談を受けたU氏を中心に同じく連絡協議会のT氏、S区の動物愛護推進員、近隣の協力者、相談者の連携でこの日、24頭を捕獲し、協力獣医師の病院2軒へ3往復のピストン輸送を行いました。車が出ている間にも公園に残った者がさらに捕獲に成功し、また運ぶ、といった具合でした。

翌日には取り残していたもう1頭の捕獲に成功しました。これでこの現場の猫がすべて避妊去勢手術を受けたこととなります。

捕獲した猫の内訳は子猫2頭、妊娠中の猫2頭を含めてメスが12頭とオスが13頭でした。

(手術猫に関しては別紙“手術済み猫一覧”をご参照ください。番号を青○で囲んであるのがオス、赤○がメス、子猫はコネコの文字を黄色でマーク、妊娠初期は文字を藤色でマークしています。)

2月9日に車3台で24頭を病院から引き取り、公園にリターンしました。この日から通常の餌やりがはじまりました。(最後に捕獲した1頭は10日にリターン)

#### リターンのあとのマネッジ

TNR活動が続いていると実は一番大切なのはこのマネッジなのではないか、と思われることがあります。ただ手術をし、終わりにするのではなく、これから、この現場が地域猫の見守り場所として存続できるか、付近の住民に地域猫を認知してもらえるのかどうか、町会や出張所が認めてくれるのかどうか、などの重要なポイントに関わってくるのだと思います。もちろん手術とリターンが終わったことを告知します。(資料4をご覧ください)

- ① 餌やりは日により2~3人でおこなっており、時間は17時から18時過ぎの間。  
→時間を決めることが大切である。餌やりさんにはそのルールに従ってもらいます。
- ② 新聞紙を広げた上に餌を置くようにし、あとはきれいに清掃して帰るようにします。
- ③ 掃除用具を公園に設置し、付近の糞拾いを主に清掃をします。この作業は餌の時間に関係なく、できる者ができる時間に行っています。食後はもちろん清掃をして帰ります。
- ④ 見学に来る人や、通行中の人たちにも話しかけて説明するようにします。(公園を待ち

合わせ場所に行っている人たちもいます)

⑤ 不審者に注意する。

このルールを守って地域住民の中に理解者を増やし、うまくいけば見守りをする後継者もできる場合があります。場所が区立公園であるために、公園のサポーター制度を利用して、公園の環境美化を図りながらマネージメントを続けることができます。

#### 公園サポーター

2月22日には新宿区保健所とみどり公園課の職員立ち会いのもとこの公園で5名がサポーターとして登録することになりました。

また現場に他の猫が現れた場合も、耳カットがなければすぐにわかりますので、引き続き捕獲と手術を行いました。(資料5“公園サポーター募集”お知らせのちらし)

ここまで進めてまいりますと当初は訝しがっていた付近の方や、処分を望む発言をしていた住民たちの声も小さくなり、徐々に感謝の言葉や、協力の申し出などが増えてくるようになります。地域猫というものを実感され、ご理解いただいたのではないかと思います。

今後は町会への働きかけにも力をいれ、町ぐるみで環境問題として地域猫の問題をとりあつかってくれるようになれば、理想的なあるべき取り組みの姿になっていくと思われま

す。(資料6“野良猫がたくさんいる。発情期なので、もっと増えそう・・・こんな時どうしますか?”をご参照ください)

そのためには私たちボランティアは引き続き努力をしていかなければなりません。

しかし大きな目を見たときに、新宿区役所の資料(資料7”手術、引き取り、処分数の推移“)にありますように、猫の殺処分数を減らすことができます。最終的に野良ネコをゼロにして絶滅させるのではなく、殺処分数をゼロにすることが、私たちの目的です。

資料 1

K 公園 TNR 報告

- 2012 年 10 月 保健所に相談有り。費用を出すから手伝いできる人を紹介して  
→ (保健所の対応?)
- 2013 年 1 月 保健所に、ほぼ同上の内容の相談が 別人 (在勤者) から  
あり → U 氏を紹介
- 2013 年 1 月 30 日 在勤者 F さんから U 氏に電話有り。  
費用の面で疑問あり、難航かと思われた。
- 2013 年 1 月 31 日 F さん、出勤前に保健所へ捕獲機を借りに行く。  
『全費用一括のめどがついた』と。  
U 氏はこの時点で手伝えることを決めた。  
保健所と現地を見に行く。
- 〃 2 月 1 日 準備開始 搬送者 (車)・搬送獣医・捕獲機・広報など
- 〃 2 月 4 日 付近への掲示とポスティング作成 保健所チェック
- 2 月 5 日 公園に掲示、付近にポスティング約 200 部  
(公園課、T 署→交番、O 出張所、町会長にも知らせる)
- 2 月 6 日 餌を少なめに指示 捕獲機 28 集める (一部 2 回転)
- 2 月 7 日 16:30 開始 24 匹捕獲 2 病院へ計 3 往復
- 2 月 8 日 最後に残っていた 1 匹を捕獲 病院へ
- 2 月 9 日 3 台の車で 24 匹を退院させリリース、公園に結果を掲示  
18 時の餌やり時に不審者と車に遭う 掲示撤去
- 2 月 10 日 最後の 1 匹をリリース U 氏 昼の見回りのみ
- 2 月 11 日 18 時の餌やり時に不審者と車に遭う

(この日朝から公園に置いてあったジャンパーを取って行った)

2月12日 通常の餌やり

2月13日 通常の餌やり U氏行かず、  
餌やり協力者の男性が不審者らしきを見た。

2月14日 通常の餌やり  
餌やりを見に来て苦情を話す夫婦あり。Fさんが対応。(町会か?と)

2月15日～ 以下のように公園での地域猫活動がスタートしようとしている。  
出張所長から町会長にはご説明いただいたが、町会も含め  
付近の皆様への周知広報はまだである。

- ① 餌やりは日により1~3人(17時~18時過ぎ)で行なっている。
- ② 新聞紙の上で食べさせ、掃除して帰るようにした。
- ③ 掃除道具を置き、食事中は付近の糞取り、食後は餌場を掃除している。
- ④ 見学?の人だけでなく、通行者にも話しかけて説明をしている。  
(小学校の母親が待ち合わせに使う場所であることがわかったので話を。)
- ⑤ 不審者(車)に注意を配る。

2月22日 公園サポーター認定について、住民Kさん、保健所とみどり公園課とU氏が現地で会い、書類を提出する運びに。5名がサポーターとなる。  
Sさん、『餌をやっていいんですね?!』と嬉しそうだが問題あり。(後述)

2月23日 ~

17時 Mさん 20分くらい餌やり 引継ぎがない時は片付けて帰る。

17時半ころ Fさんが週に4日くらい餌やりと掃除。

18時前後 Sさん 餌やり 13~22匹くらいがやってくる。

新聞紙上で餌やりして片付けて帰るが、隠して餌を置いて行く。

2月25日 2月8日に捕獲機を覗き込んで入らなかった茶トラが餌場を見ている。  
食べたそうなので、捕獲機をかけたら成功。協力動物病院へ運ぶ(翌日退院)

2月16日 『耳カットの無い猫がいる』と近所のYさんの通報。未手術のオス猫が餌場を見ていた。しばらくしたら立ち去る。飼猫かも。

K 公園近隣のみなさまへ 2013年2月5日

K 公園周辺には 今、飼い主のいないネコが沢山います。そろそろ繁殖期でもあり、ネコの鳴き声等でご不快な思いをされていると思います。

このまま放置しますとネコの数はますます増えてしまいます。餌やりを禁止しても、ネコは近隣に散らばるだけで被害はかえって拡散します。そこで新宿区保健所に相談したところ、「地域ねこ対策」を教えてくださいました。

《 地域ねこ対策とは 》

- ①ネコがこれ以上増えないよう去勢不妊手術をします。
- ②保健所の捕獲機を借りて捕獲し、獣医さんに運びます。
- ③手術後のネコは耳に V 字カットのしるしを入れて公園に返します。
- ④餌やりや掃除のルールを決め、一代限りのネコを地域で生かしていきます。

今回、ネコの妊娠を避ける為、5人のボランティアで急遽実施いたしますが、今後は一人でも多くの方のご理解とご協力を求めています。又ご報告いたしますので、よろしく願いいたします。 K 公園近隣地域猫ボランティア

連絡先：新宿区保健所 衛生課 5273-△△△△  
(人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会)

**捕獲予定日時:**

**2月7日、8日、9日 17:00～**

**お願い:**

**飼いネコは外に出さないでください。**

- \* 飼いネコにも必ず去勢不妊手術をしてください。
- \* 住宅密集地では、ネコを室内で飼うよう環境省が指導しています。

**野良ネコは もともと飼い主の無責任な飼い方から  
生まれたものです。**

## 2月7～9日 飼いネコさんを外へ出さないでください。

資料3

K 公園近隣のみなさまへ

2013年2月5日

K 公園には今、飼い主のいないネコが沢山います。そろそろ繁殖期でもあり、ネコの鳴き声等でご不快な思いをされていると思います。

このまま放置しますとネコの数はますます増えてしまいます。餌やりを禁止しても、ネコは近隣に散らばるだけで被害はかえって拡散します。そこで新宿区保健所に相談したところ、「地域ねこ対策」を教えてくださいました。

### 地域ねこ対策とは

- ① ネコがこれ以上増えないように去勢不妊手術をします。
- ② 保健所の捕獲機を借りて捕獲して、獣医さんに運びます。
- ③ 手術後のネコは耳にV字カットのしるしを入れて、公園に返します。
- ④ 餌やりや掃除のルールを決め、一代限りのネコを地域で生かしていきます。

今回、ネコの妊娠を避ける為、5人のボランティアで急遽実施いたしますが、今後は、一人でも多くの方のご理解とご協力を求めています。又ご報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

K 公園近隣地域猫ボランティア

連絡先：新宿区保健所 衛生課 5273-△△△△  
(人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会)

捕獲予定日時： **2月7日、8日、9日 17:00 ~**

お願い： **飼いネコは、外に出さないでください。**

\* 飼いネコにも 必ず去勢不妊手術をしてください。

\* 住宅密集地では、ネコは室内で飼うよう環境省が指導しています。

野良ネコは、元々は飼い主の無責任な飼い方から生まれたものです。



ご協力ありがとうございました。

餌をやっている方と協力し、**2月7日、8日に計25匹の猫を捕獲**することができました。**妊娠している猫**もいました。

本日**25匹をここへ戻します**。手術の終わった猫は**耳先にVのカット**をして目印にしています。一代限りの猫たちです。この猫たちには餌を与えて、トイレ掃除をし、管理していくことが必要です。

猫は、**愛護動物**と法律に定められており、**捨てたり殺傷することは犯罪**です。狂犬病予防法で管理されている犬とは扱いが異なります。保健所が捕獲したり処分することは絶対にありません。**繁殖制限をして共生**していくしか方法がないのです。

繁殖を止めただけのまだ第一歩、これから多くの方のご理解とお手伝いをいただきながら進めていけますよう、よろしく願いいたします。とりあえずご報告いたします。

#### K公園近隣地域猫ボランティア

連絡先： 新宿区保健所 衛生課 5273-△△△△  
(人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会)

**\* 飼い猫にも必ず去勢不妊手術をしてください。**

**\* 住宅密集地では、猫を室内で飼うよう環境省が指導しています。**

**\* 野良猫は、飼い主の無責任な飼い方から生まれたものです。**

## K公園周辺の飼い主のいない猫の手術が終わりました。

資料 5/

K公園近隣のみなさまへ

2013年3月1日

ご協力ありがとうございました。ご近所の方、お勤めの方、餌をやっている方と協力し、**2月7日、8日に計25匹の猫を捕獲**しました。オス13匹、メス12匹、既に**妊娠している猫も2匹**いました。発情期のこれからもっと増えるところでした。また、一匹は手術済みの、飼われていたらしい猫でした。

仮にメスの半数の6匹が今春子猫を3匹ずつ産むとしたら、**2ヵ月後には計43匹に**、生まれた子猫の半数がメスだとして、親子のメスがまた3匹ずつ産むとしたら、**今秋には総数70匹**という計算になります。猫は4ヶ月に一回出産し、子猫は6ヶ月になると妊娠できます。そして実際には3匹より多く産まれることが多いのです。

**25匹は元に戻しました**。手術の終わった猫は**耳先にVのカット**をして目印にしています。一代限りの猫たちです。(野良猫の寿命は 5~6 年と言われています。)この猫たちには餌を与えて、トイレ掃除をし、管理していく必要があります。餌やりの方法も改善しました。絶対に**置き餌をしないよう**徹底しています。

猫は、**愛護動物**と法律に定められており、**捨てたり殺傷することは犯罪**です。また、害虫(害獣)駆除の業者が、猫を処分することも、彼らに委託することも犯罪です。狂犬病予防法で管理されている犬とは扱いが異なり、保健所が捕獲したり処分することは絶対にありません。**繁殖制限をして共生**していくしか方法がないのです。

今回の手術が実施できたのは、みるみる増えてしまった猫を見かねた近所の方の決心でした。保健所に相談に行き、全費用を負担するからとボランティアの手伝いを求められました。皆様の周辺でご迷惑をかけていたり、かわいそうにと餌をもらっていたりする野良猫の耳先にカットがなかったら、それは子孫を増やしていく猫です。多くの皆様の少しずつの負担で手術が更に進めば、猫はどんどん減っていきます。

公園で餌を食べる猫の繁殖を止めただけの、まだ第一歩です。地域の皆様のご理解とご協力をどうぞお願いいたします。問題を解決して静かで清潔なまちづくりに成功した町が 区内では少しずつ増えています。

K公園近隣地域猫ボランティア

連絡先： 新宿区保健所 衛生課 5273-△△△△  
(人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会)

- \* 飼い猫にも必ず去勢不妊手術をしてください。
- \* 飼い猫は室内で飼ってください。(環境省がガイドラインで指導しています。) 猫狩りをする業者がいます。不審者を見たら 110 番してください。
- \* 野良猫は、飼主の無責任な飼い方から生まれたものです。
- \* 公園の清掃を始めました。お手伝いしてくださる方を募集中です。

## 【野良猫がたくさんいる。発情期なので、もっと増えそう…】

こんな時、どうしますか？】

資料 6

- ①保健所(業者)に処分してもらう ②餌やりをやめさせる ③TNRをする

- ① 保健所は動物の預かりも処分も絶対にしません。猫は法律で愛護動物と定められており、個人が勝手に遺棄、虐待や殺処分することは犯罪です。同じく愛護動物である犬は狂犬病予防法で管理されていますので、扱いは猫とは違います。
- ② 餌やりを禁止しても、なくなることはありません。隠れてなされるようになるだけです。猫は時間と場所に関係なくウロウロし、生きていく為には家庭のゴミをあさったり小動物を捕獲して生き延びます。空腹でも繁殖します。危険を感じると、子孫を残す為に繁殖本能は強くなると言われています。『3・11地震』の年には、野良猫の出生が多かった所以です。
- ③ ならば、『猫を生かしたまま、数を減らす』方法としてこの解決法が採用されています。

### 【TNRとは、何ですか？】

Trap Neuter Return は、『捕獲して、中性化(手術)して、元の場所にもどす』の略語で、野良猫の問題解決に最適の方法とされています。これ以上 数が増えませんかから猫の数は確実に減っていきます。が、難点は、時間がかかることです。

【TNR】は、現在、世界じゅうに広まり、効果をあげています。

### 【新宿区でもですか？】

新宿区の野良猫対策は全国でも進んでいます。保健所が野良猫の相談に応じ、苦情地区の視察や、話し合いの場に出張します。手術の助成金の制度があり(オス5000円、メス9000円、)捕獲機を貸し出し、捕獲の方法を教え、ボランティアを紹介できる場合もあります。区内では、保健所の制度や捕獲機を使い問題を解決していく町が少しずつ増えています。

\* TNRの方法や実例、詳細などについては、お気軽に保健所までご連絡ください。

### 【最近の事例より K公園のTNR】

・かねてより野良猫の相談が多かった管内K公園の惨状を見かねた在勤の女性が保健所と都と区のボランティアに相談し、費用負担するからと手術を申し出た。

・既に発情期が始まっており、緊急のTNRを計画。(保健所からみどり公園課へ連絡して頂き、T警察署へも連絡済)。事前に近所へのポスティングも。

・2月7、8日、計7人(ボランティア、住民、在勤(費用負担)者、餌やりさんら)が捕獲を実施。公園で餌を食べる全頭+α計25匹を捕獲して手術、9、10日にリリース。メス2匹は既に妊娠していた。

・保健所と協働・相談しながら、今後現地の餌やりの改善と付近の糞掃除をし、猫たちの管理をしていくことが課題であるが、とりあえずこの場所での繁殖は止められた。

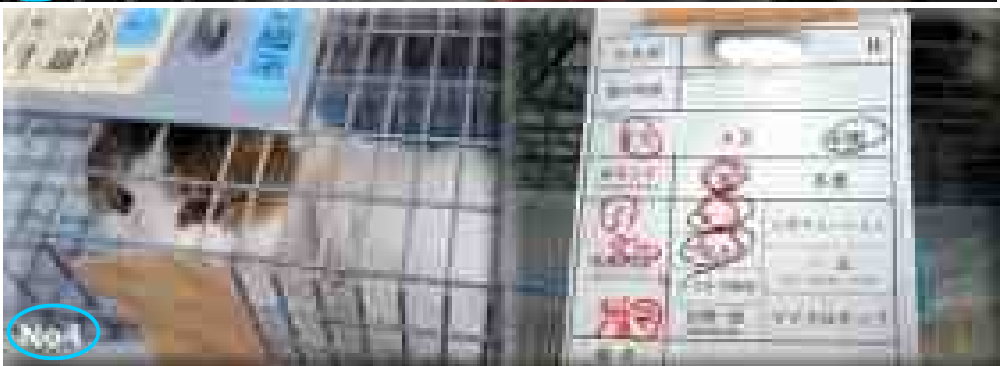
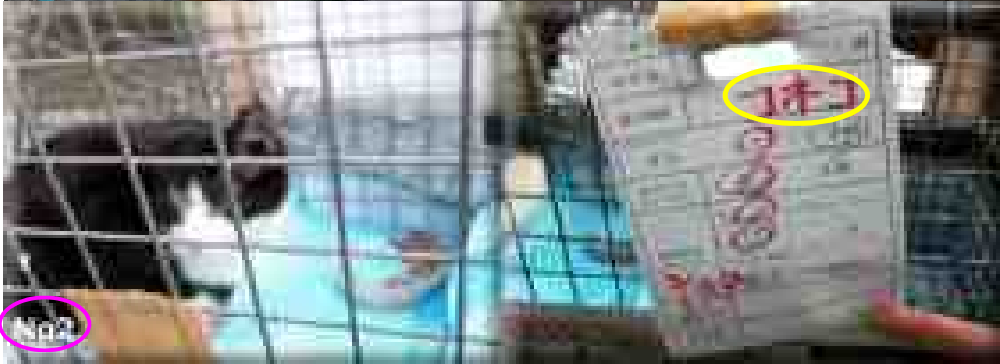
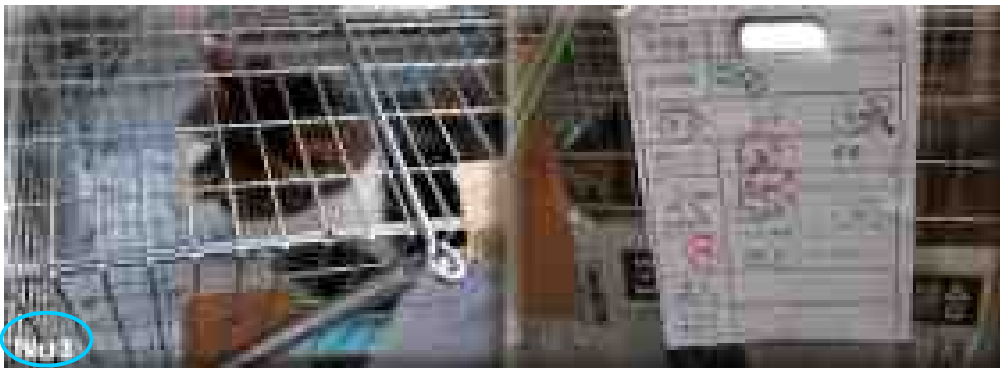
在勤者の決心から、緊急TNRに発展した事例です。今後 改善すべき点や問題点はありますが、この場所で餌を食べる全頭の繁殖を止められたのが大きな進歩です。今後のご理解をよろしくお願いいたします。

○地域ねこ対策の会

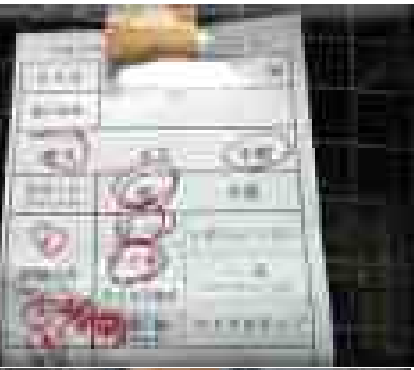
連絡先:新宿区保健所衛生課 TEL:5273-△△△△ FAX:3209-△△△△

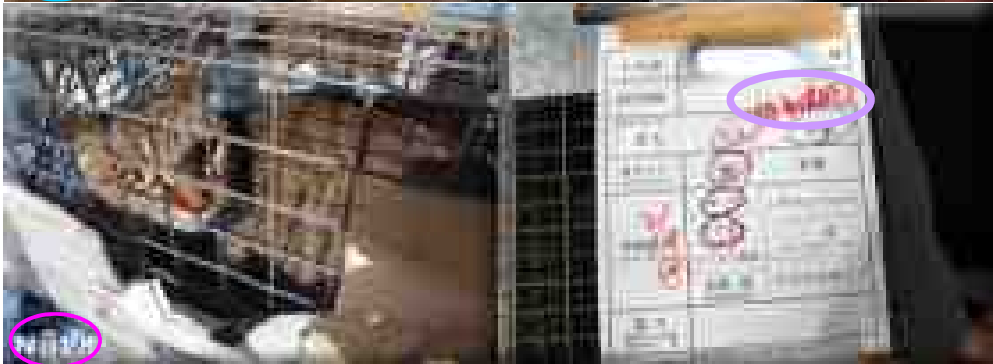
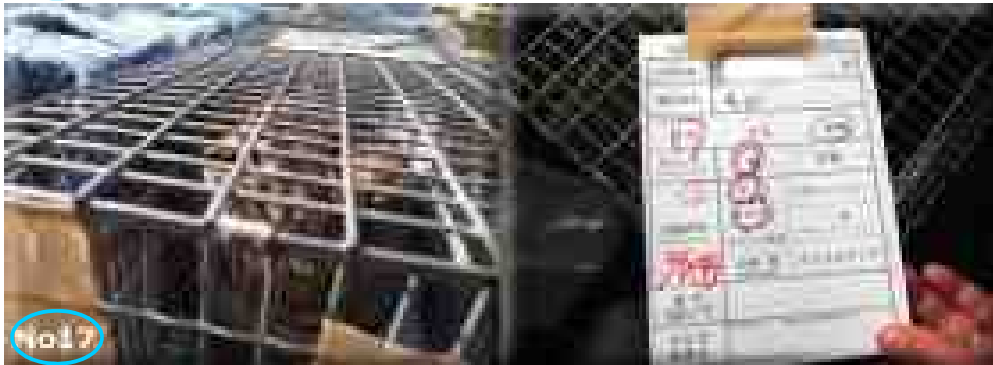
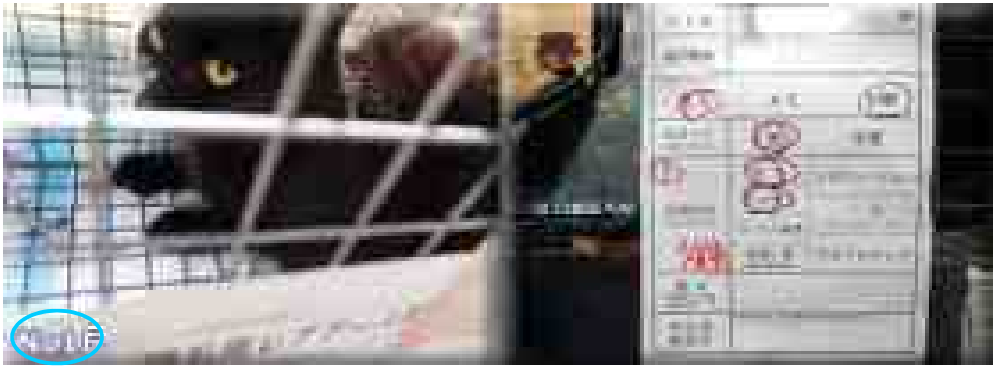
## 新宿区内の猫の手術数と収容数の推移

平成 年度	区の助成による猫の去勢・不妊手術					区内から東京都動物愛護相談センターへの収容数		
	手術計	飼い猫オス	飼い猫メス	野良猫オス	野良猫メス	収容数	成 猫	子 猫
13	453	138	315	平成16年度までは、 飼い猫と野良猫の区 別をしていないので、 飼い猫に算入してい る。		315	37	278
14	454	136	318			211	26	185
15	513	173	340			229	29	200
16	578	106	99	109	264	179	22	157
17	864	48	72	215	529	88	28	60
18	1088	50	72	233	733	97	17	80
19	1140	65	78	343	654	94	27	67
20	1112	73	88	268	683	56	19	37
21	1,004	64	66	258	616	61	30	31
22	1,099	61	62	230	746	29	12	17
23	1,209	48	44	230	887	30	8	22
24								
25								









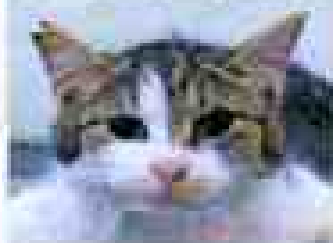


平成25年 2月11日  
No. 312  
Fv 日本猫 白地多シ虎 4,326  
黒猫シト



312

平成25年 2月11日  
No. 313  
Fv 日本猫 白地多シ虎 5,005  
黒猫シト



313

平成25年 2月11日  
No. 314  
Fv 日本猫 白地多シ虎 4,326  
黒猫シト



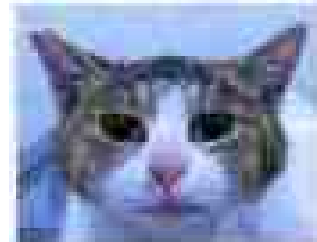
314

平成25年 2月11日  
No. 315  
Fv 日本猫 白黒 5,005  
黒猫シト



315

平成25年 2月15日  
No. 316  
Fv 日本猫 白黒 3,005  
黒猫シト



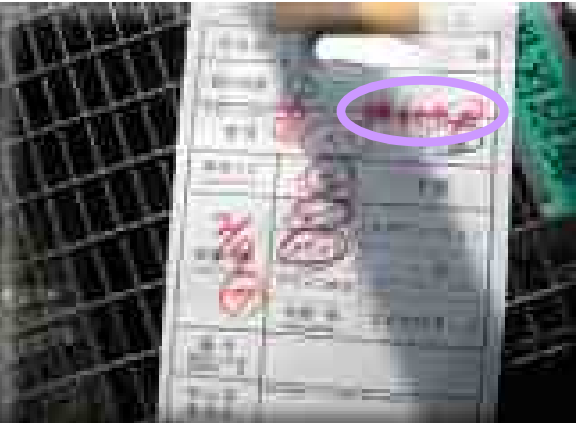
316

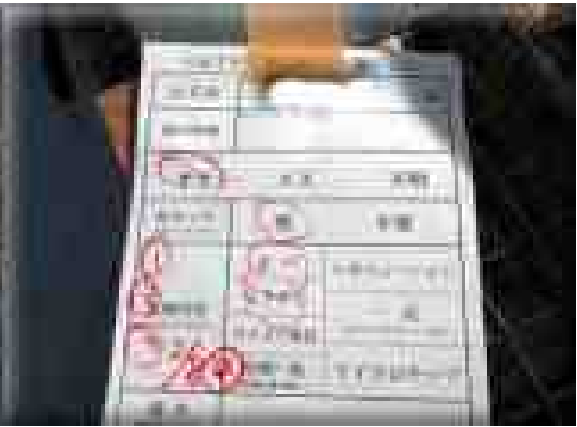
平成25年 2月15日  
No. 317  
Fv 日本猫 白黒 3,005  
黒猫シト



317





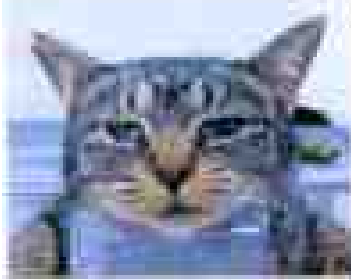




平成25年 2月8日

No. 310

種 日本猫 キジ虎 舌 1回切  
耳カット



No.310

平成25年 2月8日

No. 311

種 日本猫 キジ虎斑白 舌 1回切  
耳カット



No.311

平成25年 2月8日

No. 312

種 日本猫 白地キジ虎 舌 1回切  
耳カット



No.312

平成25年 2月7日

No. 313

種 日本猫 白地 舌 1回切  
耳カット



No.313

平成25年 2月9日

No. 314

種 日本猫 白地 舌 1回切  
耳カット



No.314

平成25年 2月9日

No. 315 超純種日本猫 全黒

種 日本猫 耳カット



No.315







町会事業なので、当然 町会員への報告や説明の責任は生じる。

#### ④【広報】

町会員だけでなく、在勤者や町外の協力者たちにも、何でも誰にでも、これでもかというくらい しつこく掲示、面会、手紙をおこなった。在住している故にできたと思う。

#### ⑤【獣医さんの協力 四者協働】

②③とも関連する。飼主のいない猫の去勢不妊手術に、年間を通して助成金制度が利用できる(オス5000円、メス9000円)新宿区に於いてでも、手術費用には前述のような大きな開きがあり、実際問題として、ボランティア個人や仲間で負担できる金額とはとうてい言えない。(が 多くの人が何とか、やろうとしている。)お世話になった獣医さんは、飼主のいない猫用の料金体系をしいていらっしゃるので、助かった。 獣医さんの技術の向上も必須で、手術の上手下手は手術時間と比例すると言っても良い。獣医さん自身に理解の気持ちはあっても、一匹に要する時間が長いと、多くの地域猫を手術していただくことは困難である。

三者協働ではなく、どうしても獣医さんを入れた『四者協働』であってほしい。

#### ⑥【保健所や出張所の役割】

手術助成金や広報物印刷代の補助の他、相談に乗ってくれ、現地調査や説明にも気軽に出席してくれる。保健所(区)と活動を協働しているということは、信用されやすいことにもなる。B町会の場合、出張所でも地区協の『地域ねこ対策会議』が運営されているので、更に周知が進んだ面もある。

#### ⑦【警察の理解度】

これは時によって、人によって、違う。助けられたこともあるが、まるで逆で足を引っ張られるようなこともあった。とにかく、警察署内でも継続して、『地域猫』について正確な理解を持っておいていただきたい。

#### ⑧【マスメディアや啓蒙教育の影響】

町会事業として成功している例として、取材を受けメディアだけで6回の取材を受けた。記事や on air となったが、当時は余り自信がなかったのと気恥ずかしかったので積極的に宣伝しなかったのは、もったいなかったかなとも思う。

今後は区の施設(学校や児童館)での、子供たちの啓蒙も夢見ている。

#### ⑨【餌やりさんの理解度、協力度】

2種類ある。従来から続いてきた餌やりさんの理解度は、残念ながら低い。地域猫の仕組みを話して餌やりをしていただくようになってからは、置き餌をして逃げるように去っていく、ということはなくなったが、耳先のカットの有る無しなど、お構いなし。時に、「町会から許可をもらっているから」と無法な餌やりをする人もまだいる。TNRが先行して、餌やりに困り、町会からお願いしてなっただいた方々は、職務を認識して大変すばらしい管理体制ができ上がっている。猫達は近所でも好感を持たれ、餌代は支給され、比較すれば明らかな優遇なのに……。

T町会は、5年前から“町会の事業として”『地域猫対策』を進めています。

### 【町の環境】

T町会は、JR 山手線に隣接する地区の西側半分です。戸建と集合住宅の間に公園や駐車場、神社などがあり、昔から常に野良猫が生まれ暮らしている状況であったようです。また、対岸、H町の都営住宅の再建設に伴い、付近で暮らしていた猫や、一時移転によって置いていかれた猫たちが移動して来て急に猫の数が増えた時期もありました。

### 【対策以前の様子】(2007 年以前)

都営住宅からの移動猫も含め、町内には、80～100 匹くらいの野良猫がいたものと思われます。野良猫に手術をする人がいなくはないものの、多くは野放しの状態でした。地元や、流しの餌やりさんから餌をもらう猫もいるし、生ゴミも漁ります。子猫は年に2～3回産まれ、烏や交通事故の餌食となったりしながらも増えていました。野良猫の被害に悩み、「餌やりが悪い」「愛情のない、人でなし」と、人対人の争いにまで発展するケースもありました。

時に、町会としてノラ猫対策を始めては？という要望や意見もあったようですが、方法がわからない、前例がない、お金の出所が決まらない、いくらかかるか見当がつかない・・・というわからないづくしの中、立ち消えていました。

私自身については、2001 年末にこの町に引っ越して来てまもなく、周囲のノラ猫の多さに驚き、町会に話しに行きましたが、「猫とはこんなものだ。しかたないんだ。」でした。落胆した私は、“NPO”の知人にトラップを借りて、家の付近にいる猫の手術をしました。目に見えて、付近での猫の喧嘩や声は減りましたし、毎年見かけていた子猫を見ることもなくなりました。『TNR』という言葉も知りませんでした、その効果は実感しました。

しかし、私の住む一角だけの解決でしかありません。何とか町会をあげて、この対策ができないものか、会長と広報部長に何度か電話や手紙でお話しましたが、実現はしませんでした。

### 【きっかけ】

- ① 地元出張所から、2007 年度の重点目標に、“駅周辺の自転車”と“地区内の野良猫”整備を挙げ、各町会から担当者を出すよう要請が来ました。町会からも、誰かを出さなくては済まない状況になってきました。ちょうどこの時、2 年間交替の当番が回ってきていた私は、多少の“猫獲り”経験があることを買われて、係りを担当することになりました。
  - ② 隣接した隣町の町会は、いち早く野良猫対策を進め成果をあげていて、私たちの町会からの猫の移動に困り、再三にわたって共に活動をすることを呼びかけてきていました。
  - ② また、町会では、使途がなく余っている環境費をどう有効使用しようか、ということが議題に上っていました。そこで「清潔な環境を作る為に猫の不妊手術に使ってはどうか？」という意見が出ました。(出したのは、私です……)
- 上記のようなことから、私たちは、使命感に燃えて、というよりも、やらなきゃいけない状況に追い込まれて、野良猫対策活動をスタートさせることになりました。『とりあえず、やってみましょう』くらいのノリでした。

### 【準備】 2007 年 11 月

役員の集まる会で、“町会として”地域猫活動に取り組むことが決まったので、その旨を町の皆様にポスティングしました。( \* 1、ポスティングチラシ参照)

地域猫広報を保健所が印刷してくださることを知らなかったので 自宅のプリンタで 1000 枚以上を印刷しましたが、以降は年間 5 回の“ねこ便り”の発行その他、地域猫関係の広報物

は全て、保健所での印刷を利用し、助かっています。

- 内容は
- 1、町会として、野良猫対策を始めます。
  - 2 こういう活動です。
  - 3、飼猫はできるだけ室内で飼ってください。
  - 4、協力者募集

チラシは町会会員以外のお宅にも入れました。特に反響を期待するでなく、『やる前に、言うことは言ったよ』のような感じでした。が、チラシを配ってから、1週間した頃、3人の協力者が役員を訪ねてきたのです。話を聞くと、「ノラ猫の被害で大変困っている。糞尿、喧嘩、鳴き声、猫避けの為の出費、車の傷、死体処理、しかも、毎年の出産でいつ果てるとも知れぬ絶望感・・・など。」「賃貸なら引越したいが、買ったばかりで引っ越せない。」気の毒でした。「とにかく現地で会いましょう」と、初めてお宅を訪ねたのが2007年12月11日でした。お宅はすぐにわかりました。あたり一面にひどい臭いが立ち込めていて、彼女達の家の前広い駐車場には多くの猫が集い、糞(下痢が多い)が散乱していました。家の周りは猫避けの無数の剣山(\*2写真参照)が張り巡らされていました。

これまでも苦情を言う人はいたけれど、餌やりを非難する人はいたけれど、3人のすばらしいのは、「何でもやります。でも自分達でできることはやり尽くしました。町会で取り組んで、やり方を教えてください。」と口をそろえておっしゃったことです。その言葉通り、6年目を迎える今も変わらず、地域猫活動の担い手になっています。

12月12日 町会長から、駐車場のオーナー(他町会在住)に猫用トイレを設置することをお願いしていただき快諾を得、すぐに2つ設置しました。このオーナーも、「猫は嫌いではなかったが、ここまでの被害に疲れきった。やれることは全てやった。」とお手上げでした。

トイレを設置したその日から、猫たちは感心にもトイレを使いました。コンクリートしかない土地で、仕方なく用を足していたのかといじらしくなるほどの変わりようでした。

(その後 トイレは町内のリフォーム会社の協力で屋根付きのもの(\*3写真参照)6つに増設され、路上の糞はなくなり、糞まみれだった土地はハーブ園に変わりました。(\*4写真参照)

#### 【活動開始】2007年.12月13日

苦情のあった地区から捕獲→手術を開始しました。とにかく仕掛けて運ぶ、運んで逃がす・・・を繰り返しました。術後の管理については、トイレ設置以外は、とりあえずは従来通り。熱心な餌やりさんがいるので、手術したことだけを伝えて、とりあえず餌を与え続けてもらいました。一箇所がほぼ終わると、次の苦情の場所や猫が多く見られる場所へ移動し、『TNR』を続けました。町会の事業ということで、資金面での心配がなかったことに加え、情報収集や、設置のお願い、飼猫への手術の説得などをする際にも、比較的分かっていたかやすかったと思います。地元顔の利く町会の役員さんや幼稚園や学校のママ友さん達にも、訪問や説得をお願いしました。

活動の開始が猫の発情期に合致したので、2008年春は多くの出産を抑えることができました。(\*5手術数の表参照)このことは広報(2008年3月より\*6『ねこ便り』を年5回発行)もしましたが、するまでもなく実感となって町内の皆様に伝わり、次々に寄付が寄せられるようになりました。

区の手術助成金制度も一年を通して利用できるようになり、目一杯利用させていただいています。

地域猫に理解の深い獣医さんが近くにいらっしゃったことも幸運でした。一日に3~4往復しても苦になりませんでした。費用は、地域猫(野良猫)用の別体系を採用して下さっており「私もボランティアを。」といつもおっしゃいます。技術もすばらしく猫に負担の少ないもので

すし、手術済みの猫を分かりやすいファイルに作ってくださることも 私達忙しいボランティアにどれだけ助けになるかしれません。( \* 7手術済み猫写真参照・裏面は領収書になっている)

### 【餌やりさん対策】【飼猫対策】

自由にやっていただいていた餌やりにも、後日、方法や時間にマナーを守っていただくよう、お願いをしました。餌やりウン十年の歴史を持つ方が多く、簡単には改善してくれません。が『猫が嫌われ者になるよ』は殺し文句かもしれません。基本的には、弱いものがお腹を空かしていると満たしてやりたいのは人間の優しい本能だと思いますが、この対策はまだ継続中です。決まった餌やりさんがいない地域で『TNR』してしまった猫には、責任を感じ、餌やりさんを必死で募集しました。その結果、数人が分担してトイレ掃除や水当番まで決まって理想的な『M(管理)』地域ができ上がりました。( \* 8広報チラシ参照)

猫を飼ってはいるが、手術には関心がなく無責任な飼い方をしている人、猫とは自由に生きるものだとして『地域猫対策』や不妊手術さえも否定する人、にも出会いました。嫌がらせ電話があったり、捕獲機が盗まれて警察署へ被害届けを出したら戻ってきたこともありました。

結局野良猫のTNRは約2年で終わり、3年目からは無責任な飼主や人間対策と他の地区から侵入してくる猫への対策がほとんどでした。

### 【現在の町の様子】

2年ほどで変化が顕著になり、5年たった今では 町の中に野良猫が一匹もいなくなりました。正確には見かけないだけなのですが、皆、その場所、場所の食事タイムに現れるだけで、あとはどこかで寝ているようです。食事を決まった時間に決まった場所でもらえることがわかってるので、のんびりしています。メスもオスも手術が終わりましたので子猫が生まれることもありません。猫そのものの数も減ったし、トイレ掃除が進みましたので、町がきれいになりました。『野良猫がかわいそう・・』だと言っていた人も、『猫なんか大嫌い』と言っていた人も両方が喜んで会話が生まれることもあります。

現在は、町内の約7箇所の餌場に 合計25匹くらいの『地域猫』が暮らしています。他地域から新顔が入り込んでも、餌やりさんが管理しているので、あまり居つくことがありません。もちろん、新顔に耳先カットのしるしがなければ、すぐに町会に連絡があり、捕獲に向かいます。2011年度には町会に『地域猫対策部』が新設され、環境費から出ていた予算が『地域猫対策費』として組まれるようになりました。

寄付は手術を盛んにやっていた頃に比べると減りましたが、絶えることなく続いています。『TNR』の後にくる『M』の大切さを分かってくださる方が増えてくるのは嬉しい限りです。

### 【TNRの経緯】

最初に手術しておけば、手術数も出産も 年々少なくなっていくのがわかります。

期間	手術頭数(匹)	出産数(匹)	誕生した子猫(匹)
1年目(2007年12月~2008年)	84	3	13
2年目(2009年)	38	1	3
3年目(2010年)	11	0	0
4年目(2011年)	10	0	0
5年目(2012年)	1	0	0
合計	144	4	16

2012年12月20日現在

現在までに合計145匹(上記表に6年目の2013年1月、一匹のTNRの追加)の去勢不妊手術を終え、元いた場所へ戻しています。譲渡は原則としてはしていませんが、13匹(子猫9匹、成猫4匹)に新しい飼主が見つかりました。

### 【収支関係】

2008年度から 町会予算の環境費から3年間で計60万円(1年目30万、2年目20万、3年目10万円)の予算が組まれましたが、それを使わなくても賄えるくらいの寄付金が集まったことは驚きでした。2011年度からは新しく『地域猫対策部』として独立し、予算が組まれ(年間10万円)るようになりました。活動初期には、支出の全てが野良猫の手術代でしたが、次第にトイレの整備や清掃用品、広報や記録の為の費用も賄えるようになり、最近では、地域猫の餌代(全部ではないが)、医療費なども出せるようになりました。

以下は、寄付金と地区協分配金による収支です。(a = c + d)

(\*2007年度から、T地区協議会の中で『T地区地域ねこ対策会議』が立ち上げられ、管内での催し時の募金や、設置した募金箱による収益を、活動に応じて毎年分配しています。)

期間	a 収入(円)	b.支出(円)	c.寄付(円)	d.地区協分配(円)	e.寄付延べ数(人)
2008年	299,000	296,079	299,000	制度なし	42
2009年	463,401	504,185	404,200	59,201	58
2010年	347,866	174,535	253,699	94,167	47
2011年	190,000	246,345	190,000	0	31
2012年	190,590	144,922	172,000	18,590	23
合計	1,490,857	1,366,066	1,318,899	171,958	201

2012年12月20日現在

### 【今後の展望と課題】

5年前に、活動計画も予算もわからぬままTNRを始め、活動報告だけが結果としてついてきた、そんな活動でした。しかし気がつけば、少なくとも静かで清潔な町に変貌していました。“静か”というのは、猫の喧嘩や発情の音がほとんど聞かれませんし、人と人が猫をめぐる争う声が聞かれなくなりました。

とはいえ、猫をめぐる人の気持ちはさまざまで、ひとつ間違ったら…みたいな所でバランスが取れている面もあります。これからも『住む人の気持ちを大切に』 推し量りながら“管理”を中心とした活動をしていきたいと思えます。“猫は飼主が家で飼う動物”が目標です。

また、集合住宅が多いこの町は、周辺の出来事に無関心な人が多いし、移動の多い土地柄でもあり、『地域猫』という言葉すら知らない人もまだ多いと思えます。最近住み始めた人たちは、猫の被害も活動も、管理の大切さも知らないわけです。町会がマスメディアに取り上げられたことが5～6回もありましたが、その頃は自信もなく目立たないように願っていましたが、今後はこういう機会も利用したり、できれば児童施設(町内に4月新設)や学校などで子供に『地域猫』や『動物のいのち』について考えてもらえる機会があれば、と夢見ています。

最後に、地域猫活動においては、『三者協働』が必要だと言われます。行政、町会、ボランティア、しかし、今回、活動を振り返る機会を得て思ったことは、獣医さんの協力無しには、この活動はありえないということでした。獣医さんの意識改革、具体的には手術費用の軽減です。偉そうで恐縮ですが、地域猫用の手術費の提供と技術の向上です。以前よりは、理解のある獣医さんが増えているとは思いますが、まだまだ足りなすぎます。

まさに必要なことは『四者協働』だと痛感しています。



## わたしたちの町会では、ノラねこ問題に取り組んでいくことにしました。

T地区協議会では、今年度の重点目標のひとつに、「地域ねこ対策」を挙げ、6月に「対策会議」が立ち上げられました。これを受けて、わたしたちの町会でも、この問題に取り組んでいこう、と世話人会で話し合いがなされました。すぐに解決するものではありませんが、新宿保健所や、NPO、お隣のB親睦会などの指導をいただきながら、前向きに進めていきたいと思えますので、住民の皆様お一人お一人のご協力を、ぜひお願いいたします。

現在も町内のあちこちで、ねこにえさをやる人とやって欲しくない人との葛藤が続いています。どちらの人も、これ以上ねこが増えることを望んではいる訳ではなく、頭を悩ませています。えさやりと片付け、糞尿の問題など解決しなければならない課題はたくさんありますが、何よりもまず、これ以上増やさないために去勢、不妊手術をすることが一番だそうです。そこで、今回は皆様に以下のことをお願いいたします。

### =^\_^= **ねこを飼っていらっしゃる方へ** =^\_^=

- 1、**室内で飼育**してください。
- 2、**去勢、不妊手術**をしてください。  
(ねこは一年に2~3回出産し、一度に2~6匹の子ねこを産むため、すぐに増えてしまいます。新宿区では飼いねこの手術費の一部を助成しています。\*)
- 3、捨てないでください。  
(ねこを捨てることは犯罪行為になります。もとをたどれば、ノラねこもみんな飼いねこだったのです。)
- 4、身元の表示をお勧めします。  
(ねこの首輪に身元を表示することで、迷いねこをなくしましょう。)

### =^\_^= **近所にノラねこを見かけられる方へ** =^\_^=

(被害を受けていらっしゃる方、えさを与えていらっしゃる方、日常見かけられる方)

- 1、**会長(3300-0000)か広報部(3300-0000)**までお知らせください。保護して手術をするよう努力します。

\* 新宿区では、ノラねこ(飼い主の居ないねこ)の手術の費用の一部を助成する制度があり、実費との差額を支払えばよいので、病院によって異なりますが、かなり安くなります。(飼いねこは少し高いですが、それでも安くなります。)予算がなくなり次第今年度の助成は、打ち切られますが、12月いっぱいは大丈夫とのことでした。(11/13現在、新宿保健所衛生課5273-△△△△)

T地区協議会では、ねこ対策をお手伝いして下さる**委員を募集中**です。是非ご連絡を。  
(3209-△△△△、T特別出張所内、  
T地域ねこ対策会議まで)

#### 手術の効果は？

尿の臭いが極端に薄くなりなります。  
さかりの泣き声がなく、けんかが少なくなりなります。出産がなくなりなります。

T町会 野良猫手術数 (H19年12月13日～H21年9月30日)

場所	月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
郵便局裏駐車場周辺		8(1)	7	4	1	4										5	4	1	1	3	1	1(1)		40(2)
O様宅周辺			2	4	5(1)																	2		13(1)
S様宅				2	1																			3
A神社周辺					1		1					1		1			3							7
Tプロ～OY様宅					5(1)																			5(1)
H様～HS様宅周辺					2(2)	4(2)	1										1							8(4)
T神社周辺					4(2)	2(1)	1					2	1											10(3)
Y様宅周辺						4(1)																		4(1)
N様～W様宅周辺							5	2	1											2				10
K様宅									6									3						9
3丁目境界(W通り)										1														1
隣町会境界付近													1								1			2
U様～I様宅周辺																4(2)		2					1	7(2)
計		8(1)	9	10	19(6)	14(4)	8	2	7	1	0	3	2	1	0	9(2)	8	5	1	5	2	3(1)	1	119(14)
累計		8(1)	17(1)	27(1)	46(7)	60(11)	68(11)	70(11)	77(11)	78(11)	78(11)	81(11)	83(11)	84(11)	84(11)	93(13)	101(13)	106(13)	107(13)	112(13)	114(13)	117(14)	118(14)	119(14)

総数119匹 オス55 メス64、( )・妊娠14、出産4(子猫16、うち2匹が町内に残る)





## T 町会ねこ便り

### 2009年8月発行 NO. 7

町会の活動で手術した猫は、115匹(オス53匹、メス62匹)となりました。(平成19年12月13日～平成21年7月28日)

寄付の総額(7/28現在): 557,200円 (延べ81人)

6～7月には、大変多くの方からご寄付をいただきました。地域活動を応援して下さるK市とS区の獣医さんからも、ご寄付をいただきました。皆様ありがとうございます。

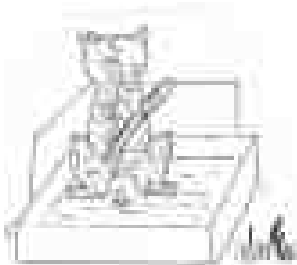


6月 ○○○○○様、○○○○様(以上6区)、○○○○様(7区)  
○○○(ビューティサロン○)様、○○○○様、○○○○様、  
○○○○○様、○○○○○様と息子様、匿名様4名(以上8区)

7月 ○○○○○様(5区)、○○○○○様(6区)、○○○○○様(8区)、  
○○○○○様(9区)、K市S獣医様、S区○獣医様  
その他に、T地区地域猫対策会議より募金活動の分配金 ¥59,201

2ヶ月間で ¥188,201ものご寄付に驚きました。定額給付金をそのまま、ご家族の分までくださった方もありました。大切に使用させていただきます。

捕獲して不妊手術をした猫の数もダントツですが、“町会として”野良猫対策活動をしているその活動が評価されて、3月には、会長が区長から委嘱状を受けました。東京都の『飼い主のいない猫との共生プログラム実施地域』にも指定され、一部都動物愛護センターで無料手術をしていただいたり、T地区からは、実績に応じた活動資金を頂くことができました。



しかし、まだまだ問題が解決したわけではありません。現在 町会が抱えている猫の問題は、簡単に大きく分けると2つあります。残り少なくはなりましたが、未手術の猫から子猫が産まれてくると、手術が終わり出産の可能性はないが、町内で生きている猫たちの糞尿問題の二つです。

今回は、特に、前者について特集したいと思います。夏休み中でもありますので、理解ができるお子様には読んでいただいたり、話し合ったりしていただけると嬉しいです。



## 特集 「捨てる命を産ませない」

不妊手術はかわいそうとか、自然のままに・・・とって手術をしない人たちがいますが、その結果、毎年多くの子犬や子猫が捨てられたり、自治体に持ち込まれガス室で苦しみながら殺処分されています。

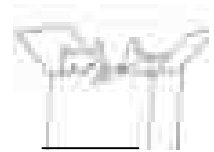
例えば、東京都動物愛護センターにおいては、事情等を聞いた上で、やむを得ず継続して飼うことができないと判断された飼い主からの犬・猫と、飼い主のわからない犬・子猫（生後間もない離乳前の子猫に限ります）の引取りを行なっています。

しかし、収容期間7日以内に飼い主が見つからなかった犬、猫や、飼養管理が困難な生後間もない子犬や子猫、治療が困難な負傷動物は殺処分をしています。

平成19年度、収容された成猫は1,058頭、子猫は4,063頭で合計5,121頭。そのうち、返還は19頭、譲渡は168頭、残り約96%の4,937頭が殺処分されました。

同じく平成19年度、全国で一年間に処分された猫の数は209,494頭です。殺処分の方法は安楽死ではありません。ほとんどの自治体が二酸化炭素ガスによる窒息死で、犬猫たちはもがき苦しみながら命を絶たれています。

自分で責任を持たない命は、産ませないのが、私達人間にできることではないでしょうか。ひとたび産まれた命を捨てない為に、昨年、町内で見つかった子猫のほぼ全部に引き取り手を見つけ、もらっていただくことができました。しかし、労力、医療費、時間などは想像以上の莫大なものでした。とにかく手術をすべきだと思つづく思いました。



**飼い猫は室内で飼ってくださいませよう、どうしても外に行きたい猫には、オスにもメスにも 不妊手術をしてくださいませよう、重ねてお願いいたします。**

《編集部より》

4~5月に東京都動物愛護センターに3回行きました。毎回それぞれ、会長、副会長、会計が同行してくださいました。駐車場に車を入れると、係員の方が、暗い顔で近寄って来ました。私達が町内から連れて行った野良猫を受け取りに近寄って来たのです。私達は『都の認可を受けており、無料手術を受けさせる為に来た』と、説明すると、表情が一変し、和みました。その時に、来訪者から猫を受け取る彼らの主な仕事内容と気持ちがあった気がしました。建物の入り口近くには、何十ものペット用かごが天井近くまで積み上げられていました。持ち込まれても、持ち帰られることのない犬猫のものと察しました。胸がつまりました。



門に入ってすぐの所には、動物慰霊碑があり、花が供えられていました。毎年数千匹が眠ってきたのです。あの場所には、二度と行きたくありません。そして、今の自分にできることが何かを考えた時、この町内で、一匹の出産もさせないようにしたい、将来的には野良猫をゼロにしたい、と強く思いました。(Y)

平成25年 2月8日

No. 311

F s 日本猫 キジ虎腹白 2 8 6 k 耳カット



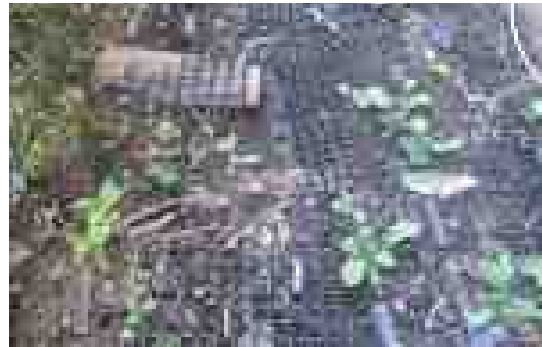
平成25年 2月8日

No. 314

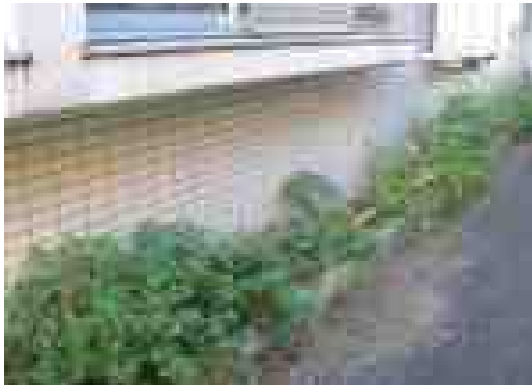
Fc 日本猫 白黒 3.68k 耳カット



町内の野良猫対策



庭一面に敷かれたプラスチックの剣山



トイレ用のプランターを残し、周囲をハーブ園に



プランターを利用した屋根つきトイレ

# 猫の被害について

2012. 1月

この周辺の飼い主のいない猫は不妊手術が  
終わっています。

猫の顔と数はすべて町会が把握しています。

糞の片付けや掃除は、オーナーや被害に困っ  
ている近所の方々、猫を嫌われ者にしたくない  
猫好きの方などの協力でなされています。

猫トイレは町会がオーナーの許可をいただき  
て設置し、町内の工務店が屋根を作っ  
ていただきました。

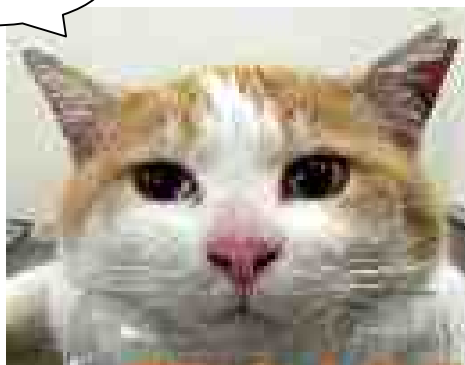
置き餌(餌の放置)は、不衛生と猫が増える原因  
になりますので禁止です。

猫の被害などのご連絡は下記までお願いします。

(株)〇エステート 3365-0000(〇〇)

T〇〇〇町会 3362-0000(会長)

幸せニャ



耳先カットは手術済みのしるしです

町会地域猫ファイル NO29のキナコ ♂  
2008年1月15日 手術済み  
昨秋の怪我を機に 家猫になった

ここで餌をもらう6匹は、町会によって、不妊手術が終わった猫たちです。もともとは心無い人間によって捨てられた猫たちですが、これ以上増えることはありません。

一代限りの命に、ご理解をお願いいたします。

町会では、トイレと餌やりを管理し、ボランティアの方が毎日、来てくださっています。(地域猫ベストを着用か掲示しています。)

お手伝いしてくださる方も、大歓迎・募集中です！！



町会NO91 ♀ かいちゃん  
2009. 2. 21. 手術済み

写真省略

写真省略

写真省略

写真省略

写真省略

町会では、新宿区保健所と協働して『地域猫活動』をしています。

T 町会

3362-0000 (会長)

090-0000-0000(地域猫対策部長)

地域猫についてのお問合せ： 新宿区保健所衛生課 (5273-△△△△)